

垂水市新庁舎建設工事基本設計（案）に対する意見書

現在、策定中の垂水市新庁舎建設工事基本設計（案）に対して、本委員会としても市民目線で議論を行い、次のとおり意見を取りまとめました。

今後の新庁舎整備の推進、さらには垂水市のまちづくりへの参考にしていただくようお願いいたします。

記

1. 基本設計（案）全般について

- ・フロアレイアウトについては、三角形の構造体を生かしたコア配置を検討いただきたい。
- ・市民スペースの活用については、市民ワークショップの意見を十分に反映されているが、更なるスペースの拡充と利便性の確保に努めながら、安全対策を含めた運用ルールづくりに努めていただきたい。
- ・基本設計後に検討可能な市民スペースづくり、窓口づくり、さらには、什器の選定について、引き続き、十分検討を行っていただきたい。

2. 跡地利用・周辺計画について

- ・旧庁舎周辺については、なるべく早い段階で人や物が集まる場所となるような明るい展望を示していただきたい。
- ・移転予定地の周辺について、予定地の残地や周辺道路、交通アクセス計画などの長期ビジョンを示していただきたい。

3. 市民の理解促進について

- ・引き続き、車座座談会などの取り組みを行い、市民の理解促進に努めていただき、可能な限り、早期着工、早期完成を目指していただきたい。

令和元年 9月 30日

垂水市新庁舎建設検討委員会

委員長

鮎坂 徹